

主要課題2 男女共同参画の視点に立った意識の改革

2-(1) 男女共同参画の視点に立った意識改革と実践

男女の地位の平等感は、男性の方が優遇されているという意見が多く見られます。固定的性別役割分担意識や性差別に関する偏見・固定概念、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）は、女性・男性いずれにも存在しており、男女共同参画や女性活躍に関する取組みの進展が十分でない要因の一つに挙げられていることから、男女双方の意識啓発・理解促進に取り組んでいます。

○各分野における男女の地位の平等感

(%)

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭の中で	11.8	32.3	33.8	9.5	2.8	10.0
職場の中で	13.5	42.5	27.8	3.3	0.5	12.5
地域社会の中で (町内会、自治会など)	12.5	43.3	25.0	4.0	0.8	14.5
社会通念や慣習やしきたりなどで	17.8	49.8	19.5	3.0	0.3	9.8
法律や制度のうえで	10.0	40.5	33.3	4.3	0.8	11.3
政治の分野で	27.3	45.8	15.0	1.8	0.8	9.5
学校教育の分野で	9.0	24.8	49.0	2.8	0.3	14.3

資料出所：愛媛県男女参画・子育て支援課「令和4年仕事と生活の調和の実現に関するアンケート調査」

■男女共同参画社会づくり推進県民大会の開催

男女共同参画に向けての意識の高揚や自発的な活動を促進し、県民総ぐるみ運動を展開するため、男女共同参画社会づくり推進県民大会（SDGsゴール5「ジェンダー平等」啓発フォーラム）を開催しました。

- ・主 催：愛媛県、男女共同参画社会づくり推進県民会議、
公益財団法人えひめ女性財団、
公益財団法人松山市男女共同参画推進財団
- ・日 時：令和4年6月29日(水)13時00分～15時45分
- ・場 所：愛媛県男女共同参画センター
※ライブ配信、アーカイブ配信（2か月間）も実施
- ・参加者：県民会議会員及び一般県民 146名（会場参加）



・内 容：基調講演

「地域社会におけるジェンダーギャップ解消に向けて」

講師：大崎 麻子

(特定非営利活動法人 Gender Action platform 理事)

パネルトーク

テーマ「地域社会における私たちのジェンダー平等の実践

出演者：大崎 麻子(特定非営利活動法人 Gender Action platform 理事)

松野 祐介(株式会社あわしま堂 愛媛本社工場 物流課社員)

山本 由美子(特定非営利活動法人子育てネットワークえひめ 代表理事)

桐木 陽子(松山東雲短期大学教授、愛媛県男女共同参画会議会長)

■SDGs ゴール5 「ジェンダー平等」啓発フォーラム分科会

	分科会(学校関係者向け)	分科会(職場・企業向け)
開催日	8月8日(月) 13:00～15:50	1月30日(月) 13:30～15:30
場所等	愛媛県総合教育センター 第6講義室	愛媛県水産会館 6階大会議室
テーマ	未来を拓く教育の実践 ～今まさにジェンダー平等が求められるワケ～	ジェンダー×女性のキャリア ～子育ても仕事も頑張りたい部下を 応援するために～
講師	河野銀子 山形大学 学術研究院教授	武田佳奈 株式会社野村総合研究所 未来創発センター エキスパート研究員
受講者	37名	57名

■男女共同参画推進地域ミーティング開催事業

地域における男女共同参画社会づくりを一層推進するとともに、機運の醸成を図るため、地方局職員、市町職員及び地域で活躍するリーダーを対象とした男女共同参画推進地域ミーティングを開催し、地域課題の解決に向けた打開策を見出し実践していくための意見交換等を行いました。

- ・主 催：各地方局(共催：管内各市町)
- ・参加者：地方局男女共同参画推進班員、市町男女共同参画担当課長、地域で活躍する者、その他(計 98 名)

地方局	東 予	中 予	南 予
日 程	令和4年10月5日(水)	令和4年12月5日(月)	令和4年11月1日(火)
会 場	オンライン開催	中予地方局	南予地方局
講 師	ワークライフコラボ 代表 堀田 真奈	オフィス・カラー 代表 水谷 紀子	さくら社会保険労務士事務所 代表 脇本 美緒
参加者数	29名	25名	44名
内 容	SDGs ×ジェンダー平等 ～誰もが愛顔であるために	とっさの無意識で可能性を 妨げないために～気付こ う、アンコンシャス・バイ アス～	男性の育休取得率向上のため に

2—(2) 男女共同参画の視点に立った学びの推進

世論調査では、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」という考え方に肯定的な意見が半数です。また、「性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい」という考え方に肯定的な意見が約9割を占めています。小・中・高校では、男女混合名簿が導入され、適切な場面で使用されています。

○教育に対する意識

項目		肯定的意見	否定的意見	どちらとも いえな	無回答
男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい	H21	60.0%	15.7%	19.9%	4.4%
	H26	52.3%	15.0%	29.3%	3.3%
	R元	44.5%	25.8%	27.1%	2.6%
性別にこだわらず子どもの個性を伸ばす方がよい	H21	88.6%	2.8%	5.5%	3.1%
	H26	88.8%	2.0%	6.3%	2.9%
	R元	89.8%	2.2%	5.7%	2.3%
学校で出席簿の順番など「男子が先」という習慣をなくした方がよい	H21	31.3%	22.9%	40.4%	5.4%
	H26	32.8%	19.5%	43.4%	4.3%
	R元	35.9%	16.5%	43.8%	3.7%
女性は文系、男性は理系の分野が向いている	H21	6.9%	53.1%	34.4%	5.6%
	H26	4.3%	56.0%	35.8%	4.0%
	R元	3.9%	60.7%	31.9%	3.5%
知的な能力は性別による差よりも個人差の方が大きい	H21	79.4%	5.0%	10.8%	4.8%
	H26	80.4%	4.7%	10.9%	4.0%
	R元	82.1%	4.4%	9.5%	4.0%

資料：愛媛県「男女共同参画に関する世論調査」